



米商進路だより

令和5年6月5日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第8号）

《 アンコンシャス・バイアスへの気づき 》

6月2日（金）より3日間行われた県高校総体お疲れさまでした。特に、3年生はこれまでの練習の成果を発揮する集大成の試合であり、新型コロナウイルスで無観客の試合が続きましたが、保護者の皆様も応援することができる有観客で試合ができたことは嬉しい極みです。無観客とは違って、観客席からの声援は、実力以上のパワーを発揮できるときがあり、背中を押してくれる魔法のチカラだと思います。

さて、先日3年生には進路ガイダンスを実施し、「ジェンダーフリー」「ダイバーシティ」等の話をしました。6月1日号の米沢市報では、アンコンシャスバイアスという言葉が取り上げられており、記事の内容に目が留まりました。人は、性別・年齢・性格・様々な点に違いがありますが、多様性を受け入れているつもりでも、無意識のうちに「当たり前」という思い込みが潜んでいるときがあるそうです。

例えば、「血液型をきいて、相手の性格を想像することがある」「性別、世代、学歴などで、相手を見ることがある」といったものです。アンコンシャス・バイアスは誰にでもあって、あること自体が問題というわけではありません。過去の経験や、見聞きしたことに影響を受けて、自然に培われているため、アンコンシャス・バイアスそのものに良し悪しはありません。

しかし、アンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、そこから生まれた言動が、知らず知らずのうちに、相手を傷つけたり、キャリアに影響をおよぼしたり、自分自身の可能性を狭めてしまう等、様々な影響があるため、注意が必要だということを市報を見て知ることになりました。これからの学校生活において、これってアンコンシャス・バイアスじゃないか？と疑ってみる目が必要かもしれません。

アンコンシャス・バイアス

〔無意識の偏見〕



《 教育実習生の学び 》

5月29日（月）より本校卒業生の教育実習生が来校しており、商業科の教員を目指し1年生のビジネス基礎の授業を担当していただいています。メディアでは長時間労働等を背景に報道されることがありますが、高校生の時から大学卒業後は教員を目指して学校生活に励み、商業科目の検定試験に積極果敢に挑戦するだけでなく、生徒会や部活動にも意欲的に取り組み成果を出してくれました。

皆さんの姿を見て高校時代を懐かしむとともに、授業を受けていた立場から授業をする立場に変わったことで、物事の見方や考え方等を変えていくことが大事だと話をしていただいたのが印象的です。6月9日（金）までの期間となりましたが、授業や部活動、そしてHR活動等でご指導をいただく場面がたくさんあります。高校時代の思い出等についても話をしてみてください。



1年1組のビジネス基礎の授業の様子

《 山形県の色は??? 》

突然ですが皆さんは「山形県の色は何色???」と聞かれたら何と答えますか。実は、吾妻山・蔵王山等の自然をイメージする人が多く圧倒的に「緑」と答える人が多いです。さくらんぼ生産は日本一ですが、「赤」や「ピンク」と答える人は少数派、そして、県の花は紅花ということも知られておらず「オレンジ」と答える人は殆どいないことが調査をして分かりました。

そこで、商業研究班では昨年度から紅花を活用して研究に取り組んでいます。2月にはべにばないちご大福の販売、今回は紅花ラスクとスコーンを愛とパンと共同開発し販売し両製品とも完売することができました。なお、7月16日（日）には、米沢市最上川源流紅花まつりが、米沢市山上コミュニティセンター周辺で開催され、そのときにも新たな商品を販売すべく日々の活動に励んでいます。



道の駅米沢で行われた販売会

6月は検定月間です。皆さん、日々の学習に積極的に取り組んでいますか。習うより慣れろ（学習時間の確保）であり学習の成果を発揮できるよう取り組んでみてください。